

やっと、スノーモンスターに出会えた！

期日 平成31年 1月26日(土)・27日(日)



日程 ①松戸 12:00—流山 IC—常磐道—東北道—蔵王ライザウッディロッジ 18:00
②ライザワールド 8:30—頂上駅 9:00—刈田岳稜線 11:00—頂上駅 12:45—
ライザワールド 13:15—駐車場発 13:30—東北道—常磐道—松戸 20:30

— 視界が急に開けた。と、突然目の前に巨大なスノーモンスターが現れた。つい今までのホワイトアウトがうそのように、厚い灰色の空の間から青空ものぞき始めた。視線を遠くに向けると斜面にはモンスターの集団が乱立し、「これぞ蔵王の樹氷！」に皆、歓声を上げた。夢中でカメラを構え、ゴジラやスノーマンを写真に収めた。しかし、あっという間だった。

皆の喜びを奪うように、また、どこまでも白く灰色の空にすっぽりと包まれた。 —

26日正午、松戸を車3台で出発。常磐道を順調に走り、福島に入るあたりから森や田畑が白くなってきて、雪国へと向かう気持ちが高まった。東北道では一時風雪も強くなったが、米沢にはいると日射しの弱々しい夕日が雪の山々をオレンジ色に染めた。18:00予定どおり、蔵王のロッジに到着した。夕食はさすが吉田シェフの選んだメニュー、山形名物「芋煮鍋」。お酒と芋煮とテレビ視聴で盛り上がった。なんと、大坂なおみの決勝戦がライブ放送されていたのだ！彼女の優勝！！でさらに宴は盛り上がった。鴨志田リーダーは飲みながらも独り冷静に、明日の日程を皆にしっかり伝えていた。

27日7:00朝食 芋煮鍋雑炊でエネルギーを蓄え、ロッジを出発。8:30始発のリフトを乗り継いで、スキー場上部に到着した。それぞれわかんやスノーシューを装着し、12人が1列になって歩き始めた。吹雪で視界悪く、数メートルおきに立つポールを目印に登る。所々、もぐるところもあるがわかんがあればさほど苦労せず登れるが、前の人と少し間をあけると足跡はすぐにかき消されてしまう。人の姿も見失ってしまうし、話し声も聞こえない。ホワイトアウトとはこのような状態をいうのか？後ろからものすごい風が吹きつける中、ひたすら前の人々の足跡を追う。こんな中、加藤はわかん装着の不具合で何度も皆を立ち止まらせてしまい、大変ご迷惑をおかけしてしまった。リーダーや高瀬さんには何度も一緒に装着をお手伝いいただいた。申し訳ない！皆さんに多大なるストレスを与えてしまったこと、強く反省！！休憩や写真を撮るような状況ではないため、とにかく刈田岳までとのろのろ進み、やや傾斜がきつくなった後、猛烈な風が吹き抜ける稜線に着いた。標識もお釜？も何も見えない。数メートル先は見えない。そして、ここで撤退の判断が下った。残念だが仕方ない。頂上は遠いのだろうか？メンバーの姿と目の前に吹きつける雪しか見えない。下りは、風に向かいさらに寒さを感じた。相変わらずわかんの不具合と戦いながら、下った。

— そして、途中まで下ってきたとき、突然、視界が開け始め目の前にスノーモンスターが現れた。ずっと前から見たかった蔵王の樹氷に出会えた最高の瞬間だった。 —



一瞬の晴れ間にて

